サオヤの月（2005）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 96分
初公開日 2005/10/08
公開情報 アルゴ・ピクチャーズ

【キャッチコピー】
夫婦であって夫婦でない．．

【解説】
　別れた元夫がカメラを手に元妻に密着、執拗に家族の再生を図ろうとする姿をさらけ出した衝撃の私的ドキュメンタリー。監督は助監督としてピンク映画を中心に多くの映画製作に関わってきた藤川佳三。
　助監督をやめた藤川佳三は物干し竿を売る商売を始める一方、自主映画を製作するが、やがて2001年2月、彼とその妻幸子は、協議離婚の末に別れることとなる。逃げるように東京を離れ“さおだけ”を売っていた佳三は、もう一度別れた家族とやり直したいと東京に戻り、衝動的に元妻と子どもたちにカメラを向け始める。当然のように最初は拒絶していた幸子も、そのカメラ越しの執拗な問いかけに観念する。過去を振り返り、互いに相手を撮り始める２人。やがて妻の提案で２人は子どもたちを連れ、“さおだけ屋”の旅に出るのだが…。

【クレジット】
監督 藤川佳三
企画 藤川佳三
　　藤田功一
編集 藤川佳三
音楽 大熊ワタル

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.